

UNISEC 14-30

SARD プロジェクト活動報告

吉川稲穂, 藤田智之, 岡田空悟, 市川乃吏親

室蘭工業大学 学生宇宙研究開発機構 SARD

〒050-8585 北海道室蘭市水元町 27-1

muroran_sard@yahoo.co.jp

概要

室蘭工業大学サークル SARD は、学部生のうちから航空宇宙分野のプロジェクトを企画・運営することでプロジェクトマネジメント能力を養い、システムエンジニアとして幅広く活躍できる人材を育成することを目的とした団体である。

今年はハイブリッドロケットプロジェクトの一年目の活動として、能代宇宙イベントでの G 型モデルロケットの打上を行ったのでこれについて報告する。

・能代での G 型モデルロケットについて

2014 年 8 月 17 日能代宇宙イベントにて G 型モデルロケット (MSM-01 愛称: オオハシ) を打ち上げた。今回の機体はハイブリッドロケット運用の前段階を目的としており、逆噴射を利用せずに無線でパラシュートを放出するような設計にした。また電装機器も搭載し、データの回収も試みた。

能代での目標はまず無事故で打上を終えること、次に損傷が少ない状態での機体回収、電装のデータ回収である。結果は電装関係のトラブルによりシーケンスに大幅な遅れが生じた上にデータを採ることができなかった。しかし無線での機体回収に成功し、無事故でロケットの打上を行うことができた。



・今後の活動

ハイブリッドロケットプロジェクトでの次の目標は、2015 年能代宇宙イベントでのハイブリッドロケットの運用・打上である。今回の G 型モデルロケットでの反省を活かし、機体・電装機器のデータ回収を目指していく。

また、SARD では新たに人工衛星プロジェクトが始動し、能代宇宙イベントに向けて缶サットの製作を行う。将来的にはキューブサットの運用を目指し、活動する。